

<b>拡充</b>	<b>新エネルギーシステム設置等補助業務</b> (予算額 58,250千円)	環境部ゼロカーボンシティ推進室 事業推進係 (23 - 6401)
財源内訳	県支出金 11,687千円、一般財源 46,563千円	
支出内訳	4款3項2目 環境推進費 / 住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金 46,750千円、次世代自動車購入費補助金 11,500千円	

**1 概要**

温室効果ガス排出量の削減に資する設備等を導入する方に対し、導入に関する費用の一部を補助します。

**2 目的**

本市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）における温室効果ガス削減目標（2030年度において2013年度比28%削減）の達成を目指す上での一助とするものです。）



**3 補助対象設備及び補助額**

(1) 住宅用地球温暖化対策設備設置費補助金 (46,750 千円)

補助対象設備	補助率又は補助単価 (上限額)	R4件数	予算額(千円)
住宅用太陽光発電システム	1万円/kw 又は対象経費の50% (4万円)	79	3,160
家庭用燃料電池コージェネレーションシステム (エネファーム)	対象経費の5% (5万円)	95	4,750
家庭用エネルギー管理システム (HEMS)	対象経費の25% (1万円)	174	1,740
定置用リチウムイオン蓄電システム	1万円/kwh 又は対象経費の5% (7万円)	315	22,050
電気自動車等充電システム (V2H)	対象経費の5% (5万円)	7	350
ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス (ZEH)	1件16万円 (16万円)	85	13,600
断熱窓	対象経費の5% (5万円)	2	100
家庭用充電スタンド <span style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 2px;">拡充</span>	対象経費の5% (2万円)	50	1,000

(2) 次世代自動車購入費補助金 (11,500 千円)

補助対象設備	補助率又は補助単価 (上限額)	R4件数	予算額(千円)
燃料電池自動車 (FCV) (個人)	車両本体価格の5% (20万円)	5	1,000
燃料電池自動車 (FCV) (法人)	車両本体価格の5% (10万円)	5	500
電気自動車 (EV)、プラグイン・ハイブリッド自動車 (PHV)	車両本体価格の5% (5万円)	200	10,000

<b>拡充</b>	<b>ゼロカーボンシティ推進業務</b> (予算額 54,769千円)	環境部ゼロカーボンシティ推進室 事業推進係 (23 - 6401)
財源内訳	国庫支出金 29,843千円、一般財源 24,926千円	
支出内訳	4款3項2目 環境推進費 / 委員報酬 95千円、費用弁償 63千円、特別旅費 3,098千円、調査検討委託料 38,082千円、地球温暖化対策実行計画策定支援委託料 13,145千円、電気自動車充電設備整備工事請負費 286千円	

## 1 概要

2050年における「市域における二酸化炭素排出量実質ゼロ」(ゼロカーボンシティ)の実現のため、様々な事業を新たに実施します。

## 2 主な内容 (予算額) **新たな取組**

### (1) 事業者の省エネ化・削減目標策定支援業務 (6,127千円)

市内事業者の温室効果ガス排出量の削減に寄与する取組の支援  
(セミナーの開催、省エネ診断、事業者脱炭素計画策定業務等)

### (2) 公共施設への再生可能エネルギー導入目標策定業務 (9,955千円)

公共施設への再生可能エネルギー設備の導入目標の策定  
(公共施設の再エネポテンシャル試算、導入手法の検討、公共施設再エネ設備  
導入計画の策定等)

### (3) 地産地消の自立・分散型エネルギーシステム構築検討業務 (22,000千円)

スマートライティング (通信ネットワーク化したLED街路灯) の計画策定、実証実験  
(QURUWA地区内において、段階的な調光によるCO<sub>2</sub>、コスト削減及びまちの賑わいを創出)

### (4) 地球温暖化対策実行計画改定業務 (13,145千円)

国の計画改定に伴う地球温暖化対策実行計画 (区域施策編) の改定  
(市域の再エネポテンシャル調査、ワークショップなど市民参加型の計画策定支援等)



# おかざき自然体験の森整備業務(予算額 50,869千円)

環境部環境政策課  
環境施策係(23 - 6207)

財源内訳 市債 11,000千円、一般財源 39,869千円

支出内訳 4款3項2目 環境推進費 / 施設整備工事請負費 49,907千円、水道分担金 962千円

## 事業概要

循環式便所の水洗化改修及び現工作棟を改修して便所を新設します。それに伴い、施設内排水を下水道に接続するための排水管を敷設します。それにより、今まで制約のあった団体利用や飲食イベントなどが可能となり、施設の更なる活用を図ることが出来ます。

## 改修の必要性

- 設備の老朽化及びメーカーの撤退
- 便所数不足
- 施設に排水設備が無い

## 排水処理方法

敷地と隣接する北斗台団地において、下水道本管との接続が可能であり、浄化槽よりも総合的に費用を抑えることが出来るため、下水道処理とします。

# トイレの改修・新設

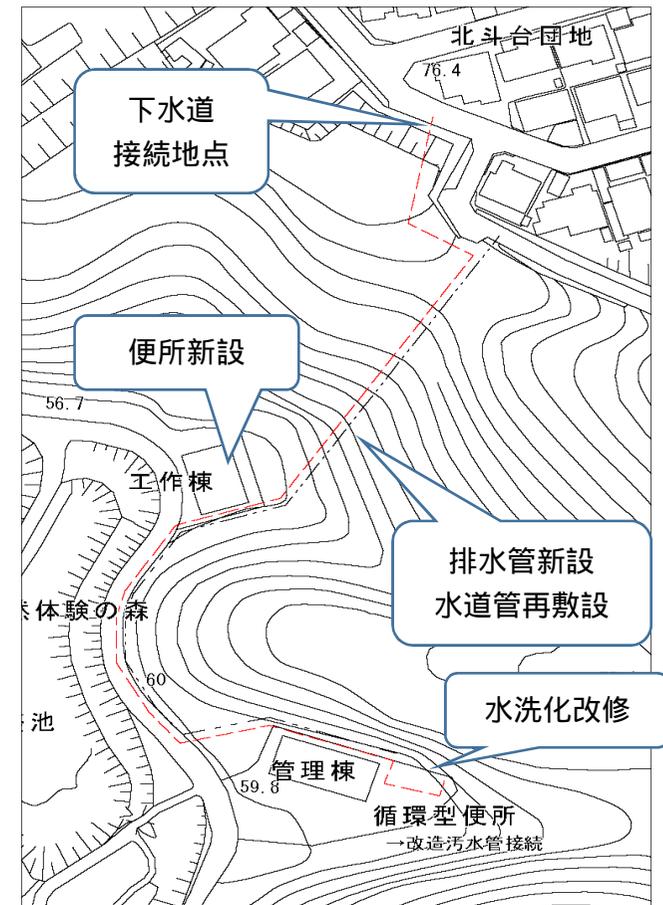


施設唯一の便所(循環式)



トイレ待ちの児童

## 位置図



<b>岡崎漆プロジェクト推進業務</b> (予算額 15,146千円)		経済振興部中山間政策課 政策係 (23 - 6206)
財源内訳	国庫支出金 6,952千円、一般財源 8,194千円	
支出内訳	6款1項3目 農政費 / 特別旅費 123千円、消耗品費 200千円、工作物修繕料 396千円、施設保守点検委託料 356千円、 岡崎漆プロジェクト推進委託料 13,905千円、継続契約集合支払特別会計繰出金 166千円	

良質な国産漆のニーズが高まる中、耕作放棄地等を活用して漆の産地化及びブランド化を推進します。

(推進体制)

- ・岡崎市
- ・あいち三河農業協同組合
- ・岡崎森林組合
- ・合同会社 E L E M U S
- ・地域商社
- ・岡崎市ぬかたブランド協議会

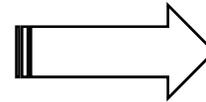
(関係機関)

- ・名古屋大学
- ・鳥取大学
- ・自然科学研究機構



### 農業支援センター

- ・温室で苗の育成 (0~2年)
- ・育苗技術の確立
- ・新産業製品 (バイオプラスチック等) 開発研究



### 耕作放棄地・山林

- ・苗の生育状態の良いものから順次、植栽 (2~15年)



貢献施策

- ・耕作放棄地対策
- ・林業6次産業化
- ・カーボンニュートラル
- ・ものづくり産業、新産業の振興
- ・中山間地域活性化
- ・山林の有効活用
- ・SDGs
- ・文化財修復

<b>拡充</b>	<b>中山間地域活性化業務(予算額 57,770千円)</b> <b>山村振興業務(予算額 13,952千円)</b>	経済振興部中山間政策課 政策係(23 - 6206)
財源内訳	国庫支出金 26,266千円、一般財源 45,456千円	
支出内訳	2款2項12目 中山間地域振興費 / 中山間地域活性化業務:事業協力者報償金 4,800千円、中山間地域活性化委託料 26,695千円、地区別計画及び施設活用計画策定支援委託料 2,486千円、土地賃借料 467千円、建物賃借料 885千円、施設整備工事請負費 22,000千円、継続契約集合支払特別会計繰出金 437千円、山村振興業務:事業協力者報償金 3,600千円、特別旅費 42千円、消耗品費 50千円、企画運営事業委託料 1,000千円、職員研修負担金 40千円、全国山村振興愛知県支部負担金 120千円、愛知県交流居住センター負担金 500千円、地域おこし協力隊活動費補助金 3,000千円、地域活性化企業人負担金 5,600千円	

中山間地域を持続可能な魅力ある地域とするため、移住・定住対策、地区別計画の策定、施設の有効活用等を推進します。

**拡充**

移住相談窓口を設置し、移住・定住の促進を図ります。

地域独自の魅力や価値の向上、地域経済の活性化を図る「地域活性化起業人」制度を導入します。

移住・定住対策

体制構築、情報収集、分析、発信

- ・移住相談窓口の設置
- ・移住アドバイザーの配置
- ・移住関連情報の収集、分析
- ・地域おこし協力隊制度の活用(1名増員)
- ・地域の魅力発信(ワーケーション、自然体験、アウトドア活動、レクリエーション、健康づくりの場としての魅力向上)

多様な働き方への対応

- ・複業人材育成、地域資源、地場産業に関する調査、分析
- ・農林業就業への誘導(スタートガイド、体験イベント開催)
- ・地域活性化起業人制度の導入(商品開発、プロモーション)

地区別計画・施設活用計画の策定、施設整備

地域コミュニティの維持強化

- ・地域住民主導による将来ビジョンの作成
- ・既存施設の有効活用方法検討と試行

